

ビノレルピン+トラスツズマブ+ペルツズマブ療法

(ナベルピン+ハーセプチン+パージェタ)

様



コース目

☺ **お薬の名前と治療のスケジュール** (副作用の状況を考慮して、抗がん剤の影響が強く残っていると考えられる場合は、次回の治療開始を延期することがあります。)

薬の名前	作用	めやすの時間	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目
			12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18
デキサメタゾン(デキサート) ファモチジン(ガスター) クロルフェニラミン(ポララミン)	吐き気止め、アレルギー予防です	15分	☺							—														—
ペルツズマブ(パージェタ)	抗がん剤です	60分→30分	☺							休														☺
生理食塩液		30分	☺							—														☺
トラスツズマブ(ハーセプチン)	抗がん剤です	90分→60分→30分	☺							休														☺
生理食塩液		15分	☺							☺														☺
ビノレルピン(ナベルピン)	抗がん剤です	5分	☺							☺														☺
生理食塩液	血管炎予防	30分	☺							☺														☺

2回目から投与時間が短くなることがあります。

2回目から投与時間が短くなることがあります。

ルート確保用5分

この週はお休みです。

☺ 治療による副作用

:注意が必要な時期

	1日目	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	1日目			
	12/28	12/29	12/30	12/31	1/1	1/2	1/3	1/4	1/5	1/6	1/7	1/8	1/9	1/10	1/11	1/12	1/13	1/14	1/15	1/16	1/17	1/18			
自覚症状	アレルギー様症状																								
	発熱や寒気、吐き気、頭痛、めまい、じんましん、脈が速い、息苦しいなどの症状が出た場合はお知らせ下さい。																								
	食欲不振・吐き気																								
	食欲低下や吐き気がすることがあります。食べやすいものを無理なく食べ、水分を摂りましょう。																								
	口内炎																								
口の中が荒れて痛みが出る場合があります。歯磨き、うがいなど丁寧にしっかりと行いましょう。																									
手足のしびれ																									
手足のしびれ、感覚が鈍るなどの症状が出る場合があります。																									
脱毛(頭髪・まつ毛・眉毛など)																									
髪質が少し変わることもありますが、治療後半程度でまた生えてきますので、心配しすぎないでください。																									
検査値	白血球減少																								
	感染しやすくなりますので、手洗いうがいを心がけましょう。必要に応じて白血球数を上げる注射をすることがあります。発熱時はお知らせ下さい。																								
	赤血球減少(貧血)																								
	貧血の症状(めまい・ふらつき)がでたりします。転倒に注意しましょう。																								
血小板減少																									
出血しやすくなって手足に赤い点やあざがでたり、歯ぐきから血が出たりすることがあります。転倒に注意しましょう。																									
肝機能低下																									
体がだるい、食欲がでない、皮膚のかゆみ、皮膚や白目が黄色くなる場合があります。																									

心機能低下(治療回数が増えると生じることがあります。息苦しさなどがありましたらお知らせ下さい。)



- * 注射の針を刺している部分に違和感や浮腫、痛みなどがありましたら、すぐにお知らせください。
- * 上の表は治療のスケジュールや副作用が出やすい時期の目安を示したものです。必ずこの通りになるとは限りません。
- * それぞれの副作用に対して、必要に応じてお薬を使うこともあります。
- * 何か気になる症状が出たり、お聞きになりたいことなどありましたら、気軽に医師・看護師・薬剤師にお尋ねください。